

青少年教育者のための STEPUPセミナー②～夏の安全管理編～



【期日】 2024/6/8 ～ 2024/6/9
 【対象者】 青少年教育施設職員、社会教育関係職員、学校教育関係職員
 【参加人数／募集人数】 20 / 20
 ※日帰り7名、大雪職員8名含む

1. 趣旨

指導者として安全管理の基本やその重要性について理解し、安全意識の向上を図るとともに、ハイキングなどの夏のアクティビティ体験やケーススタディを通して、実際に起こりうるリスクについて把握する。

2. プログラム内容

【1日目】

日付	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
6月8日							13:00 集合	開講式	①講義	休憩	②演習	休憩	③講義	夕食	④講義	入浴	交流会	自由時間	就寝

【2日目】

日付	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
6月9日	起床 準備	つどい 朝食	準備	⑤活動	休憩	⑥講義	12:15 解散	閉講式								

3. 活動内容

①講義「安全な体験活動のベース作り」

1泊2日の研修全体を北海道教育大学岩見沢校教授濱谷氏にご担当していただき、施設における安全管理の基本やその重要性について学習した。



②演習「リスクを把握する」

「薪割り」と「火起こし」の2つの活動を実際に活動する側と観察する側の2グループに分かれて実施し、それぞれの立場で活動中のリスクについて、話し合いをし意見交流を行った。



③講義「熱中症対策について」

(株)大塚製薬工場の福田氏に講師をしていただき、熱中症が起こるメカニズムやその対処方法などについて学習した。



④演習「ケーススタディ」

実際に夏のキャンプで起きた死亡事故を例に、事故の原因やその予防策などについて、グループごとに話し合いを行い、交流をした。



⑤活動「ジオハイキング」

大雪の提供プログラムである「マグマ越えコース」を職員がガイドし、参加者は活動中の危険やリスクを考えながら歩いた。



⑥講義「振り返り」

「マグマ越えコース」で考えた危険やリスクをグループごとに交流した。活動中における安全管理の重要性をあらためて学習することができた。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対しての満足度をお答えください。（人）

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
7	1	0	0

5. 参加者の声

- 座学と実習をリンクさせながら実施できたことで、より理解しやすい内容でした。実際に発生したケースを取り上げて考えたことでイメージもしやすかったです。
- 短い時間の中で、押さえておくべきポイントが分かりやすくまとまっていました。
- リスクマネジメントの考え方を職場へ持ち帰り、職場で活かしたいと思います。
- 同じ業種の方だけでなく、様々な方とお話できて良い経験ができました。
- 自分が普段おこなう事業のリスクマネジメントについて、見返す、考え直すきっかけとなった。
- いつも通りの慣れで安全だと思わずに、十分気をつけて活動したいと思いました。
- 事例を基にリスクマネジメントを考えるなどして、実際、自分の施設でもありえることだと感じました。もっとしっかり対応の仕方を考えないといけないと感じました。（マニュアル作ります！！）
- 素人では気づけない危険なところも知ることができたため、大変勉強になりました。

6. 事業の成果

- 参加者の安全管理に対する意識が高まり、研修を受けながら自施設に戻った際にできることややってみたいことを考えることができた。
- 「マグマ越えコース」を実際に歩く演習では、宿泊研修で利用する小学校の先生も日帰りで参加していた。注意すべきポイントなどを事前に下見をすることができ、大変良かったとの感想を頂くことができた。
- 大雪では夏と冬の年2回、安全管理研修を行うことで、職員の安全に対する意識とスキルの向上を図ることができている。

